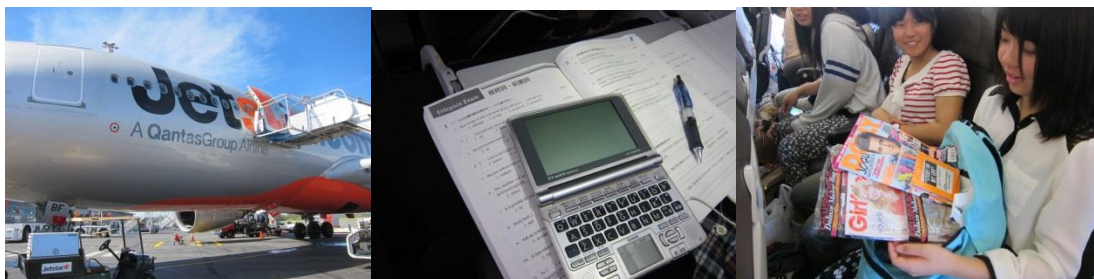


3月29日（土）帰国の日

5時45分モーニングコール。チェックアウトの準備をしてスーツケースを預け、6時30分までにロビー集合。全員そろって洋食バイキングの朝食会場へ。急いで食べて7時20分にバスは空港に向かい出発しました。



約9時間のフライト中、英語のワークをするもの数名、英語の本や雑誌を読むもの数名、関空に着くまでに提出するよう言っておいた「研修旅行をふりかえって」を書くものもいました。そのなかから、一部をご紹介します。（くわしいものは一高祭の展示で紹介予定です。）



2週間の中につめ込まれたたくさんの思い出！私生活から学校、観光など様々な環境が私を成長させてくれた。また、オーストラリアでしかできないこと、初めて体験することなど色々な経験をすることができた。また、オーストラリアに来たい。（O・M）

今回のホームステイで異文化や異なった価値観の人々に触れ、出会い、改めて“自分”を考え直すことができました。また、オーストラリアの良さはもちろんのこと、日本の良さも再発見できました。オーストラリアで出会ったすべての出会いに心から感謝したいです。（T・S）

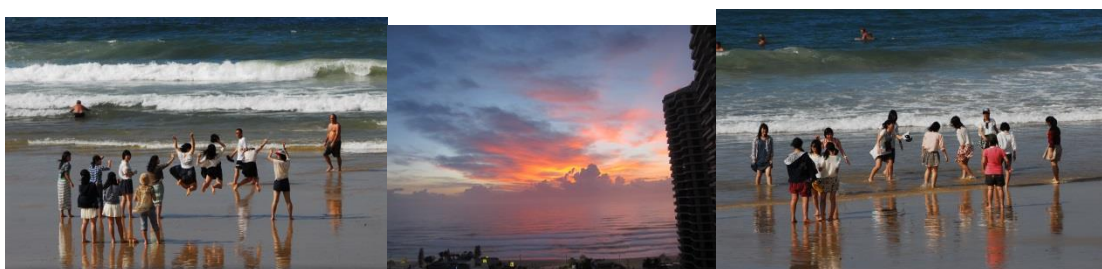
あっという間の2週間でした。最初の1，2日はどうなるのかと知らない場所、英語ばかりが聞こえることで不安でいっぱいでしたが、もう今では帰りたくないと思います。先輩たちのまた行きたいという言葉の意味が今なら分かります。オーストラリアに来られて本当に良かったです！（M・Y）

この2週間で私が得たことは、自分から行動すれば相手もすばらしいものを与えてくれるということです。はじめのうちは、とても緊張して、あまり話しかけることができませんでしたが、仲良くなって、少しずつ話していくと、相手も自分のスピードに合わせて話してくれて、とてもうれしかったです。また、私の場合バディがいなくて、結局知らない子たちにさそわれてついていったら、今ではその子を含めて8人ぐらいの子と友達になる

ことができました。ホストファミリーもとても良い方ばかりで、最後は号泣してしまいました。私にとって、この2週間は本当に充実したものでした。(K・M)

2週間というとても短い期間だったが、とても内容の濃い2週間になった。これからもっと英語をがんばっていきたいと思った。とても貴重な体験をさせてくれた親に感謝する。(O・K)

今回のホームステイは本当に楽しかったです。ここに書ききれないくらいのたくさんの思い出をもらいました。でも、まず驚いたのは、ビーチと空のきれいさ！地球にはこんなところがあるのかと地球の広さを実感しました。私の人生のターニングポイントになりました。(K・Y)



この海外研修は自分にとってとても貴重な経験になると思う。ホームステイを通じてのホストファミリーとの会話、学校の友達との会話、また店での店員さんとの会話、どれも日本にいと絶対にできないもので、自分はときどき「とんでもない体験をしているな」とつくづく思った。日本のことを説明するときなどは、自分の頭のなかのイメージが、なかなか相手に伝わらず、辞書に頼るばかりだった。もし次、同じような場面に遭遇したときは、その内容をすべて辞書なしで説明したい。(T・S)

2週間は私にとって本当に短いものでした。ホストファミリーに会う前はただ緊張して、心配でしたがファミリーに出会った瞬間から不安は一切なくなって、自分の家族のようにいっしょに過ごすことができました。1番残念だったのは、自分の気持ちを英語でしっかり伝えることができなかったことです。だから伝わることの大切さと嬉しさを実感しました。この2週間、今まで過ごしたことのないほど自由でゆっくりとした時間でした。じっくり楽しむとともに言葉の壁を乗り越えた人とのつながりを感じられる充実した研修旅行でした。(K・N)



順調な旅程をこなし、春の嵐の中、関空からバスで一高へ。正門をくぐるとそこには傘をさしたトトロ…もといT団長先生の姿が。教頭先生おふたりと一緒に迎えに来た保護者

の車の誘導を、雨のなかでしてくださっていました。校長先生もわざわざ迎えてくださったのですが、一高到着は22時30分頃と遅かったため、車内で解団式を済ませ、生徒は早々に帰宅させました。

多くの人にささえられての今回の研修旅行、生徒の成長を感じられるものであったと思います。